

常盤の翠

志・実・録

発行

平成31年1月31日
鹿児島市立伊敷中学校

なんで星人

昔の時計は電池やソーラーではなく、ゼンマイを使った機械仕掛けで動くようになっていました。だから時計の中はどんな仕組みになっているのか知りたくて家の柱時計を分解したのです。もちろん



ん、中の仕組みを見たら元通りに組み立てるつもりでしたが、小学校4年生の私は、結局、時計を元通りにすることはできずにひどく怒られた記憶があります。

私は小さい頃、とにかく何でも

知りがる子どもで、「なんで星人」と呼ばれていました。「なんでお月様はずっとついてくるの。」「なんで遠くの山は青く見えるの。」「なんで冬になると葉っぱが落ちるの。」等々。「なぜ・・・」「どうして・・・」とにかく理由を知りたかった。そして今もその性格は変わっていません。だから私は、理由が分からないまま行動することが嫌なのです。自分で納得しないと心を込めて行動できないのです。

私が入学した四十数年前も、伊敷中学校では、生徒が「門札」を行っていました。「門札って誰にお辞儀をしているの。」って思ったことを覚えていきます。皆さんはなぜ門札をしているのですか。きまりだから？ 伝統だから？ しかたない？

私は、自分で何かをするときにはいつも「何のためにするのか」を考えます。納得できるまで考えることが、本気になって一生懸命に努力する原動力になるからです。逆に言えば、納得しないまま、なんとなくやっ

ることは、本気ではないから意欲も出ないし、長続きもしないはずだと思っています。

校長 寺園伸二

皆さんが学校にいる間は、自分の出した答えが正解かどうかを誰かに教えてもらう場合が多いでしょう。でも、人生の様々な場面においては、自分が判断したことが正解かどうかについては、誰も教えてくれません。皆さんのこれからの人生には、何が正解なのか分からない場合も多いはずで、自分で判断したことは自分で責任を負うことが人生の原則なのです。だからこそ、自分なりの考えを持つて納得して行動することは、とても大切です。自分ですることには自分で意味を持たせなければならぬ。何のためにするのかを自分で決めなければならぬ。逆に言えば何のためにするのかも考えずに行動してはいけません。

伊敷中の皆さん。皆さんは何のために門札をするのですか。黙想や無言作業をしているのですか。考えましよう。考えて自分なりに意味を見つけましよう。伝統として受け継がれてきたことには必ず意味があるはずで、そして、その意味は誰かに教わるのではなく、自分で見つけることに価値があるのです。自分のやっていることにはどんな意味があるのかを決めるのはあなた自身なのです。

時は過ぎ、「なんで星人」は校長先生になりました。今でも、毎日「なんで・・・」と考えます。そして、それが「伊敷中のためにあれをしたい、これをしたい。」という原動力になっています。

「なんで星人」はこれからも頑張ります。

2月の主な行事予定

- 5日 学年末テスト (1・2年) ~7日 社会人に学ぶ (3年)
- 7日 3年授業参観・PTA
- 9日 立志式
- 14日 読み聞かせ2年
- 20日 職場体験学習 ~22日
- 21日 読み聞かせ1年
- 26日 1・2年授業参観 PTA

わくわく、授業体験

後輩に伝えるものは

1月18日(金)、現在の小学六年生を対象に、伊敷中学校授業・入学説明会が行われました。体験授業では、教科によっては一・二年生がサポートを行い、緊張しながらも楽しそうに授業に参加する小学生の姿が見られました。

また、入学説明会では生徒会役員が学校生活を紹介するソシオドラマが行われました。三大伝統を大切に行っていること、生徒会を中心に自主的な活動が多くなることなどを笑いも交えながら分かりやすく伝えてくれました。

さて、伊敷中はまもなく新入生を迎えることとなります。三年生は後輩に何を残していくべきなのでしょう。また、一・二年生は新入生に何を伝えていくべきなのでしょう。三学期は次の学年の0学期という話がありました。後輩のあこがれとなる自分をしっかりイメージしてほしいと思います。

伊敷中に入ってよかった、と新入生にも思わせたいものですね。



三大ハーン、覚えていますか？
「あの頃の気持ち」を振り返ってみるのもよいでしょう。

あいさつの素晴らしい学校

来校研修から見えてくる伊敷中

1月28〜30日、「かのや」や「肝付」から九名の先生方が伊敷中学校に研修に来られました。5月の研究公開は授業が中心ですが、3日間、学校生活を送る皆さんの姿を見てどのようなことを感じたのでしょうか。



第一鹿屋中学校
濫田由香里先生にインタビュー

Q 伊敷中学校生徒の印象は？

「あいさつ」が元気ですばらしいです。声も大きいですが、頭までしっかりとさげることができていて、感心しました。

Q 特に印象に残った場面は？

全てですが、黙想がしっかりとできていてどんなときでも静と動のけじめが付いていることがわかりました。引き締まった雰囲気を感じました。

Q 授業の様子は？

何と言っても話し合い・討論が素晴らしいです。考えを伝えるだけでなく、その良し悪しを伝え合っていました。これから大人になっても意見が言える人に育っていくのだろうと予想できました。

Q 生徒会活動について

朝の校門でのあいさつを始めとして、自分たちで動いている印象です。先生方が声掛けをするより自主的で効き目があると感じました。

Q 生徒たちへメッセージをお願いします。

3日間いると笑顔で親しくあいさつをしてくれたり、「何かしましょうか」と声を掛けてくれたり、とても楽しい時間を過ごすことができました。ありがとうございました。

感想より

「実証授業は気合いが入る？」と聞きましたら「僕たちは当たり前のことを当たり前にするだけです」。(生徒会が)忙しいそんな仕事だねえ」とつぶやきましたら「忙しいですけど楽しいです」そう答えた生徒たちの姿を見せていただき、伊敷中で取り組んでいること、先生方の日頃の関わりが生徒たちにしつかりと伝わっているのだ、と感じました。

社会人に学ぶ

現在と未来をつなぐ時間に

1月24日(木)、一年生を対象として、さまざまな職業人からお話をうかがう「社会人に学ぶ」が行われました。



図書の本やパンフレットからだけでは得られない、リアルな体験や仕事に対する考え方を聞くことができ、働くことに関する意識が高まったのではないかと、思います。

講話を聞いて感じたことは、救急隊員って大変だと思ったことです。毎日の流れを聞くと働く時間が16時間で休む時間が8時間しかない。その中でもご飯中に電話がきて現場へかけつけたり、戻ってくるとまた電話がかかってきたりと大変しくご飯を食べ終わるのに5時間かかると聞いてびっくりしました。けれど、働くことによって人の命を守ったり助けたりするすごい人々だと感じました。大変だけど人のために一生懸命働いているという気持ちですごく伝わりました。将来についてもっと知ってみたいと感じました。

栄光の記録

○鹿児島県中学生テニス新人戦

男子団体Aパート

優勝

2年2組	堀切 望夢
2年4組	平山 凜太郎
2年6組	池田 湊
1年5組	内村 翔大
	川上 慶楨
	荒木 陽稀

○第29回プロエース杯中学生バドミントン大会

1年女子ダブルス	優勝	1年5組	重久 愛凛
		1年2組	入来 遙楓
1年女子シングルス	3位	1年5組	重久 愛凛
男子初心者シングルス	3位	1年1組	東 遼太郎
		1年1組	東 遼太郎
ダブルス	3位	1年1組	東 遼太郎
共通女子ダブルス	3位	2年1組	桃北 凌河
		2年3組	吉住 月那
共通男子ダブルス	3位	2年1組	入来 夏風
		2年3組	宮之脇 楓也
共通男子シングルス	3位	2年1組	亀田 周杜
		2年3組	宮之脇 楓也
		2年1組	亀田 周杜

○弥五郎どん祭り奉賛柔道大会

優勝

1年5組	瀧川 七花
------	-------

○第16回山口貫十旗中学柔道大会

団体の部	3位	2年3組	長元 奈々
		1年5組	瀧川 七花
個人の部	3位	2年3組	長元 奈々
		1年5組	瀧川 七花

